

草間市民センターだより

男性の家庭料理教室

2月17日(土)、草間公民館主催の「男性の家庭料理教室」を開催しました。講師をカルストむつみ会(渡辺孝子代表)の皆さんにお願いし、誰(男性)でもできる家庭料理を習得しよう、今回は8人が巻き寿司に挑戦しました。参加した男性たちは、まず野菜を洗う、切る、茹でるなどの工程を一つ一つ教えていただきながら進めていきました。また、酢・砂糖・塩を鍋で加熱しながら合わせて「すし酢」を作り、炊き上がったご飯に混ぜて「すし飯」を仕上げました。この後、1人2本の巻き寿司を作りました。1本は、ちくわ・ごぼう・にんじん・卵焼き・穴子などの田舎風の物、もう1本は、レタス・きゅうり・蟹かまなどにマヨネーズを加えたサラダ巻きを作りました。初めて体験する参加者がほとんどで、楽しく和やかにそれぞれ個性のある巻き寿司を完成させました。最後に、講師の皆さんが作った茶碗蒸しとお吸い物を加え、みんなで味わいながらいただきました。参加者からは、「また家でも作ってみたい」との声もあり、有意義な一時を過ごしました。



講師の説明を熱心に聞く参加者



すし飯を仕上げる



海苔に広げたすし飯に具材を置く

土橋とんど祭り・地区民大会

2月18日(日)、土橋交流センターグラウンドにおいて、土橋みらいの会(田井義明会長)主催の「第18回土橋とんど祭り」が開催されました。この日は、雲ひとつ無い晴天に恵まれ、地区民約1000人が集まり交流しました。まず午前10時から渡邊宮司による神事が行われ、主催者や来賓による玉串奉納が行われました。その後、田井会長のあいさつや来賓あいさつの後、地区代表の年男・年女の方々がやぐらに点火しました。火は勢いよく燃え上がり、参加者は、炎の前に無病息災・五穀豊穡を祈りました。また会場では、温かい甘酒や豚汁などが振る舞われ、参加者は寒さを忘れとても喜んでおられました。

～3月の行事予定～

- 3 (日) ひな祭り弁当 (土橋、足見)
- 10 (日) ひな祭り弁当 (草間)
- 12 (火) 新見南中学校卒業式
足見生き生き教室
- 14 (木) ほがらか会
- 15 (金) 草間台GG愛好会大会 (祝)
- 20 (水) 春分の日
- 21 (木) 草間台小学校卒業式
新見南小学校卒業式
- 26 (火) 草間台保育所卒業式



～4月の行事予定～

- 3 (水) 草間台保育所入所式
- 9 (火) 新見南中学校入学式
- 10 (水) 草間台小学校入学式
新見南小学校入学式
- 18 (木) 草間GG同好会《哲多大会》
- 29 (月) 昭和の日



活動報告をする大学生



玉串奉納の様子



田井会長のあいさつ



竹内昌彦さんの講演



代表者による「やぐら」への点火



渡邊宮司による神事

また、この後会場を室内に移し、土橋地区恒例の「第18回地区民のつどい」が開催されました。まず最初に、土橋地区で交流を続けている新見公立大学柳迫研究室(ゼミ)のみなさんから、元気集落との交流に関する活動報告がありました。続いて、土橋地区合同サロンも兼ねて竹内昌彦先生による「いじめ・命の大切さ」の講演を聴講しました。竹内先生は、現在79歳、8歳の時に視力を失ったそうです。子どもの頃にいじめにあった話や、良き先生に出会い新たな目標に向かったことなどを話されました。最後に、子ども達には、「立派な人」大勢の人を助けられる人になって欲しい。」と結ばれました。会場は、和やかな中にも胸を打つ話に引き込まれていました。

この後は、新見ゆずりは太鼓の演奏や蝦名宇摩さんの三味線と唄が披露され、参加者の親睦と交流が図られ、有意義な一日を過ごされました。

きのこ栽培講習会

2月24日(土)、草間台エコミュージアム推進協議会(堀江利明会長)は、草間公民館との共催で、第18回きのこ栽培講習会を草間市民センター前駐車場で開催しました。この日は、草間公民館管内の20名と岡山市や倉敷市など県下各地から68名、さらにスタッフの合計113名が参加しました。最初に、講師としてお願いした財団法人日本きのこセンターの元職員池田琢壘先生(真庭市在住)より、椎茸の栽培方法やほだ木の置き場所、管理方法などについて詳しく教わりました。その後参加者は、用意された原木360本にドリルを使って削孔し、種駒をひとつずつ丁寧に楽しみながら植え付けました。こうして植菌された原木をそれぞれ4本持ち帰り、収穫を楽しみにそれぞれ自宅管理されます。



堀江会長のあいさつ



池田先生のお話

また会場では、草間産のそば粉を使って中山勇治さん(宮原在住)に打ってもらったかけそば(おにぎり付)や、地元の店舗「オトノハ」によるケーキなどの販売があり、参加者には大変好評でした。

この栽培講習会に向け、1月には草間台エコミュージアム推進協議会等のメンバー15人が、羅生門駐車場付近の雑木林のクヌギ・コナラなどを伐採し、椎茸の原木として約150本を確保しました。この活動は、里山の保全・再生を目的に近年継続して取り組まれています。



種駒を丁寧に埋め込む参加者



原木にドリルで穴を開ける作業



作業後にそばを食べる参加者



植菌された原木を積み込むスタッフ